

API接続チェックリストの策定方針・検討状況について
第3回事業検討委員会

2022年2月28日

API接続チェックリストは、API提供事業者とAPI利用事業者が安全にデータ連携の実施、及びAPI接続後のモニタリングを実施するためのツールとして作成する

API接続チェックリストの作成目的

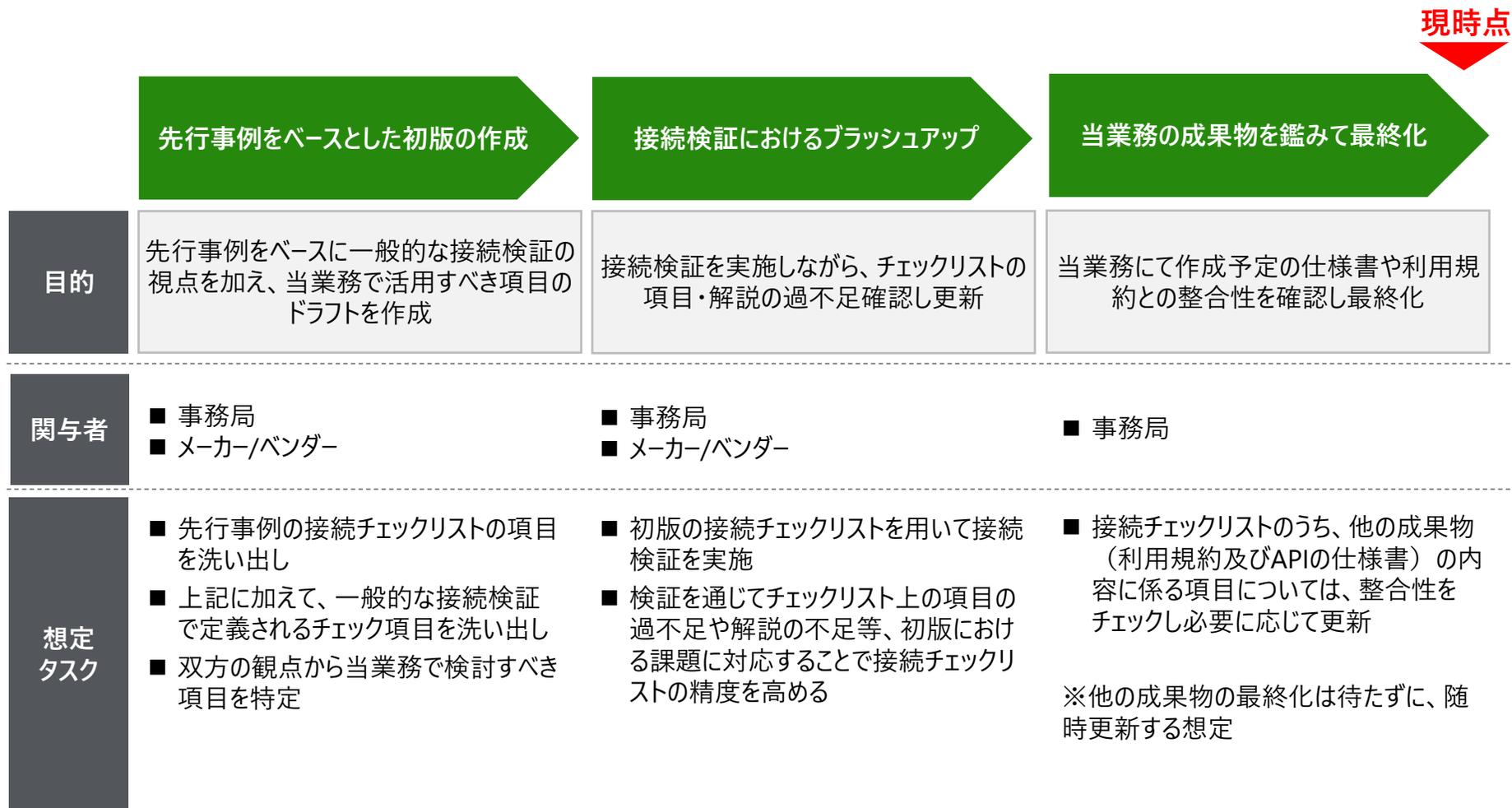
API接続チェックリストの目的	<ul style="list-style-type: none">➢ API提供事業者とAPI利用事業者の間における安全なデータ連携を実現することを目的として行う、<u>セキュリティに関する確認を効率的に実施するためのツール</u>として活用する➢ <u>API接続後のモニタリングを実施するためのツール</u>としても活用する
-----------------	--

API接続チェックリストの構成	API 接続チェックリスト解説書	■ チェックリストの目的や利用方法、確認項目の詳細内容を記載
	API 接続チェックリストフォーマット	■ 確認項目毎に現在の対応状況や課題認識等を記載

API接続チェックリストの活用例	< 主なAPI接続プロセス >		< API接続チェックリストの活用イメージ >	
	API接続前	API接続後	①安全なデータ連携に向けたセキュリティの確認 <ul style="list-style-type: none">■ API提供事業者からAPI利用事業者に対して、API接続チェックリスト（解説書・フォーマット）を提示■ API提供事業者のセキュリティポリシーやAPI利用事業者の態様等を踏まえ、両者でチェックリストの確認項目に関する協議を行い、カスタマイズを行う■ 両者で合意した確認項目を達成状況を確認の上、契約締結を行う（※両者で合意した確認項目をすべて満たしていなくとも契約締結は可能）	②API接続状況のモニタリング <ul style="list-style-type: none">■ API提供事業者及びAPI利用事業者は、両者で合意した確認項目に関する状況を定期的に相手方に報告する■ セキュリティポリシーの更新等により確認項目の見直しを行う必要が生じた場合は、両者で協議の上、再度、確認項目のカスタマイズを行う

接続検証中のブラッシュアップ及び当業務における他成果物との整合性確認も行い、API接続チェックリストの最終化が完了している

策定アプローチ

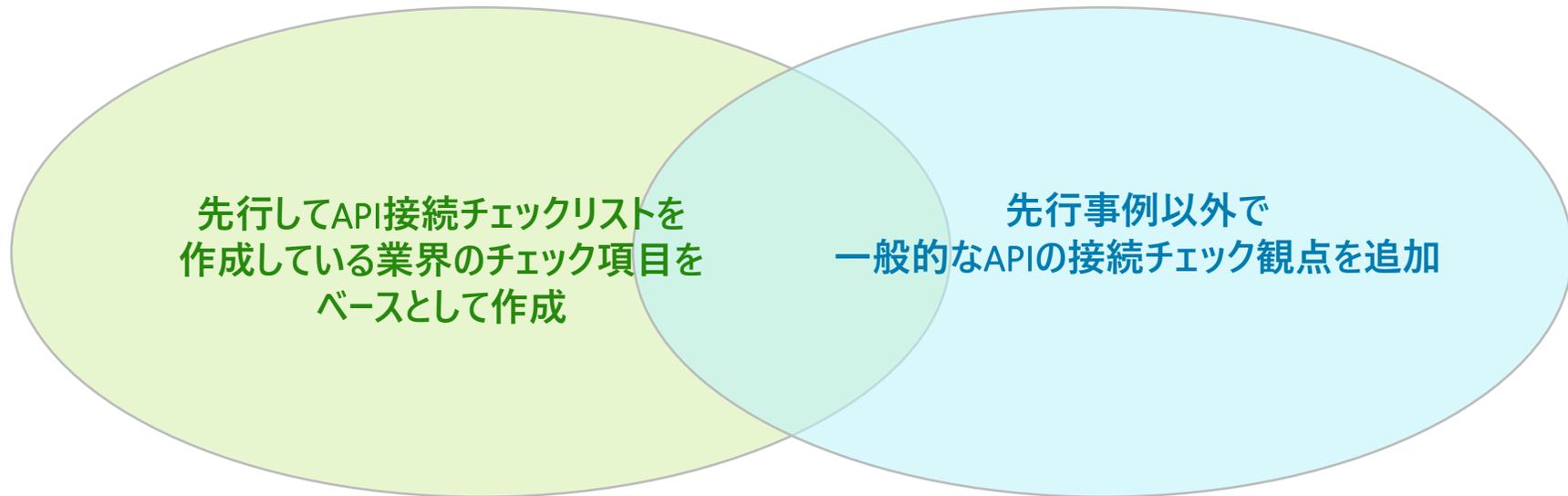


先行してAPI接続チェックリストを作成している業界のチェック項目をベースとして、一般的なAPI検証の観点を追加することで初版を作成

API接続チェックリスト作成の考え方

先行事例の検証項目

一般的な検証項目



上述の観点から検証項目は幅広くリストアップする（項目の削除は実施しない想定）
各ベンダー・メーカーの提供システムの特徴に由来する項目が存在（または不要な項目が存在）する場合は
各ベンダー・メーカーによるカスタマイズを実施する

API接続チェックリストの初版として10個のカテゴリを洗い出した

API接続チェックリストのカテゴリ

No.	カテゴリ	備考
1	情報・セキュリティ管理態勢	API 接続先の情報・セキュリティ管理態勢について確認する。
2	外部委託管理	API 接続先が外部委託を行う場合、外部委託の管理態勢について確認する。
3	API提供元・API 接続先の協力体制	利用者保護の観点から、農機メーカー及び API 接続先における責任分界点や役割分担について確認する。
4	コンピュータ設備管理	API 接続先がサービスを提供するシステムが実装されているコンピュータ設備のセキュリティについて確認する。
5	オフィス設備管理	API 接続先がサービスを提供するシステムにアクセスする機器が設置されているオフィスのセキュリティについて確認する。
6	システム開発・運用管理	API 接続先の基本的な開発及び運用の管理態勢について確認する。
7	サービスシステムのセキュリティ機能	API 接続先が提供するサービスシステムのセキュリティ実装要件について確認する。
8	API セキュリティ機能	利用者保護の観点から、API アクセスを管理するシステムについて確認する。
9	API 利用セキュリティ	利用者への説明義務について確認する。
10	APIドキュメント管理	API仕様に関するドキュメントとソースコードの紐づきやバージョン管理方法について確認する。

APIチェックリスト項目のフォーマットイメージは下記の通り

API接続チェックリスト解説書及びフォーマットのイメージ

API接続チェックリスト解説書

区分	対象者		
情報・セキュリティ管理態勢	API 利用事業者	API 提供事業者	共通
			○

通番 1	セキュリティ管理責任の所在と対象範囲を明確にする。
------	---------------------------

セキュリティに関する適切な対策を実施するため、セキュリティ管理に関する責任者を決定し、職務範囲を明確にする。

本項目に関連して実施する手法例は、以下が考えられる。

<責任者の設置>

1. セキュリティ管理に関する最高責任者を明確化し、セキュリティ管理の職務範囲を認識している。
2. 情報資産の安全管理に関する業務遂行の責任者を設置している。
3. 情報資産を取り扱う部署における情報資産管理に関する責任者を設置している。

<最高責任者・責任者の業務>

1. セキュリティ管理に関する最高責任者は、情報管理に関する各種対策を実施している。
(注1)
2. API 利用サービスを所管する部署のセキュリティ管理に関する責任者は、情報管理に関する各種対策を実施している。(注2)

API接続チェックリストフォーマット

API提供事業者と API利用事業者の農機データ連携のためのAPI 接続チェックリスト

農機API共通化コンソーシアム

通番	区分	セキュリティ対応目標	対象者	現在の対応状況	課題認識	課題への対応計画	備考
1	情報・セキュリティ管理態勢	セキュリティ管理責任の所在と対象範囲を明確にする。	共通				
2	情報・セキュリティ管理態勢	セキュリティ管理ルールを整備する。	共通				
3	情報・セキュリティ管理態勢	役職員に対する情報管理方法の周知やモニタリング等の実施により、セキュリティ管理態勢の定着を図る。	共通				
4	情報・セキュリティ管理態勢	情報資産の管理を実施する。	共通				
5	情報・セキュリティ管理態勢	役職員による不正への対策を実施する。	共通				
6	情報・セキュリティ管理態勢	自社サービスの解約時及びシステムの廃棄にあたっては機器等から情報漏洩が生じないよう、防止策を実施する。	共通				
7	情報・セキュリティ管理態勢	セキュリティ不祥事案の発生に対して、振り返りと対策を実施する。	共通				

API接続チェックリストの最終化が完了し、サイボウズ掲示板上にて公開中

策定スケジュール

	12				1					2			3							
	06.	13.	20.	27.	03.	10.	17.	24.	31.	07.	14.	21.	28.							
マイルストーン				年末休暇											◆					
初版の展開																				
事業検討委員会にて提示																				
先行事例をベースとした初版の作成	■									■										
ドラフト作成	■																			
ドラフトのチェック（事務局）		■																		
メーカー・ベンダーへの意見照会			■																	
意見集約・反映（事務局）											■									
接続検証におけるブラッシュアップ												■								
メーカー・ベンダーからのフィードバック							■													
当業務の成果物を鑑みて最終化							■													
利用規約・API仕様との整合性チェック							■													